

「おめでとう マリア」

ルカによる福音書 1章26～28節

女子聖学院中学校高等学校チャプレン 高橋恵一郎

1 受け入れるマリア

「おめでとう、恵まれた方、主があなたと共におられる」

マリアのもとに天使ガブリエルが現れました。信じられないことでしたが、その先がありました。あなたは、身ごもって男の子を産む、と。しばしば受胎告知と呼ばれている場面です。多くの絵画の主題にもなっています。

おとめから救い主が生まれるであろう、という預言をマリアも知っていたことでしょう。イザヤ書7章14節にこのように書かれています。

「見よ、おとめがみごもって、男の子を産み その名をインマヌエルと呼ぶ。」

その神のみ業の実現を皆が期待していました。

けれども、少女のマリアにとって、それはどのような意味を持っていたことでしょうか。昔から言い伝えられて来た伝説の一つに過ぎなかったのではないのでしょうか。いつの日か、特別で理想的ヒロインが、この世に現れるのだらう、と。その方は、きっとすごい人なのだらうな、と。自分とは何の関係もないことのように思われていたに違いありません。

しかし、それが「自分の事柄」として実現した。マリアは天使の言葉を素直に信じ、従い、救い主である主イエスの誕生が準備されることとなりました。

2 新しい誕生

クリスマスを前にしたこの季節にしばしば読まれる聖書の箇所です。読んでいる者にも、幸せが伝わってきます。

ところで、聖書がなぜ多くの人を引きつけ、読まれているのでしょうか。理由は、聖書には無限の可能性が記されているからだと言って良いでしょう。神がおられ、私たちの救いのためにありとあらゆることを行って下さる。時には海を割り、時には老人から子を産ませ、時には死人を蘇らせる神。絶望と困難の中で、驚くべきみ業が行われ新しい歴史が開かれ、刻まれてきたことを聖書は伝えます。その神の業が、今も行われ、将来においていよいよ大きな出来事として実現されていくことが約束されている書物、それが聖書です。

それだけではありません。その神のみ業が自分自身と密接な関係を持つこととして知らされてくるのが聖書です。2000年も3000年も前の聖書の中の出来事、それが自分とは無関係ではないことを知らされてくる。天地創造の出来事が、あるとき自分のためのものであったことに気づかされる。神は、私が呼びかける時に初めて、この存在に気づいて下さるのではない。それは逆で、私が神を知らない、その時から神は私という存在に向かって身を向け、強い関心を持ち、語りかけ、歴史を進ませて下さる。

っておられた、と。

聖書を読んでいると、あるときこの神の御心に直面させられ、驚かされるのです。神を信じるとは、そのような事実に気づかされる、ということです。信じるというより、見えるようになる、見えるようにされると言った方が良いでしょう。

神が私を愛していて下さる事実に直面させられるのです。それは、存在を揺さぶられるような強い感覚です。さらに、この私を通して、神が何かをなさろうとしておられることを知らされます。この小さな器を用いて語り、働き、新しい神のみ業を実現しようとしておられる。人生の先に新しいステージが展開されてくることを知らされるのです。

さて、職員室の前に掲示されているバースデーボードが新しくなりました。毎月ピーター先生がご準備くださっています。今日が誕生日の人もいますね。おめでとうございます。ちなみにバーサクローソン先生も12月生まれです。21日です。

誕生日は嬉しいものですね。なぜ、嬉しいのでしょうか？それは、自分という存在が認められていることを実感するからではないでしょうか。プレゼントはもちろん嬉しいものです。しかし、それ以上に嬉しいのは、自分が受け入れられている、愛されている、ことを知らされるということです。

自分という存在が認められ、受け入れられ、愛されている、そのことを実感することは、新しい自分が生まれてくる経験だと申し上げてもよいと思います。自分という存在が喜ばれ、祝われる経験をする中で、新しい自分が誕生するのだと。それが誕生日の喜びです。

聖書を読むということ。それは神に認められ、愛されている事実と直面することです。神によって新しい誕生を経験することだと言ってもよいと思います。たとえ、全ての出来事がうまく行かない時であっても、神が私たちに新しくして下さることを知らされる本、それが聖書である、と。私たちは、素晴らしい本を持っている、いや与えられているのです。

3 おめでとう！

マリアが天使を通して聞いた神の言葉を聞きました。「おめでとう、マリア！」それは、神がマリアを認め、愛し、その存在を祝っている、その事実を表すと同時に、マリアを新しく生まれさせる言葉でした。この言葉を聞き、マリアは、主イエスの母マリアとして新しい人生を歩み出すこととなりました。

神は私たちにも語りかけています。

おめでとう！

恵まれた女！

私たちも、新しくなることができます。神の語りかけのなか、この日も共に過ごして行きましょう。その視点により互いを認めつつ、互いを祝いつつ、歩くことができるよう聖霊に求めてまいりましょう。

試験も3日目。神様の祝福を信じて一緒にこの時を乗り越えていきましょう。

2016年12月1日 女子聖学院中学校高等学校 チャペル礼拝